

## 「クローズアップ現代」と言う奇跡

拝復

いよいよ春本番がもうそこまでですね。もっとも今日は一日中デスクに張り付いていたので外の様子は今ひとつ分からないのですが^^;。ただし私の体のアレルギー反応は確実に春を感じており**ティッシュと目薬とマスク**が手放せない日々です(T\_T)。日本人の5人に一人がかかっていると言う花粉症。いらない高

速道路を一本でも減らして、**花粉症対策に予算を**つけてもらえませんか？(マジ)



さて今回のお題は「クローズアップ現代」と言う奇跡、と題してお送りします。聞かずと知れたNHKの代表的な報道番組。昨年11月26日には**放送通算2500回!**達成という驚異的な長寿番組になっています。何がこの番組をしてここまで生きながらえているのか、3ヶ月単位(1クール)でとっかえひっかえの番組と何が違うのか。様々な視点から分析をしたいと思います。

「クローズアップ現代」、毎日は見ないでも、一回や二回はご覧になられているのではないかと思います。番組は**1993年4月**にスタート。当初は21:00からの定時ニュースの後に、30分番組としてスタートをしました。現在は19:00の定時のニュースの後、**19:30~19:56**までの放送となっています。**この時間帯、普通のサラリーマンにはちときつい(T\_T)**。私もよく見るようになったのは独立して自

ジョーバ、15分乗っていると結構な運動に→



分の会社を立ち上げてからです。会社で堂々と19:30にジョーバ(笑)に揺られながらほぼ毎日見えています。でも**今はHDDに落とし込んでタイムシフト視聴が賢い時間の使い方**だと思います。だまされたと思ってやって見ませんか?「クローズアップ現代」追っかけ(笑)。世の中の見方が少し変わるかもしれません。



←結構この近くを歩くのが好きです^^; いい場所にありますよねえ

NHK 的に位置づけを考えると、19:00からの定時の放送が「ニュース」そして「クローズアップ現代」が**ニュース特集と言う位置づけ**になっているように感じます。内容については非常に幅が広い。「ラーメンから大砲まで」が総合商社の「売り」だった時期があったように記憶していますが、同様ですね。2007年の全てのテーマがアーカイブになっています。<http://www.nhk.or.jp/gendai/> 独自にピックアップして分類をして見ました。

ジャンル	社会	国際	事件	医療	経済	環境・資源	労働	IT	人物	スポーツ	文化	教育	政治	災害	世代	歴史	自然	その他
件数	28	22	18	14	14	10	10	9	7	6	6	5	5	3	3	3	2	1
割合	17%	13%	11%	8%	8%	6%	6%	5%	4%	4%	4%	3%	3%	2%	2%	2%	1%	1%

実に幅広い！（※あくまで弊社のカウントです）

NHKのホームページによると

「現代社会が抱える諸問題をより深く、分かりやすく、魅力的に伝える」とあります。この番組に関してはNHKさんも自信ありのようです（笑）。ま、その名に恥ないと言うか2007年も「ケータイ」から「サブプライム」まで非常に幅広い分野を扱っています。

この番組の特徴は前半の時間を取材した映像で構成し、後半を内容の解説とゲストコメンテーターとの対話の中で問題を浮き彫りにしようとしている独特のスタイルがあります。いつも感心させられるのは**プレゼンテーションが上手なこと**。フリップやCGを使って出来るだけわかりやすく作っていることを実感できます。昨年のNewsLetterで「サブプライムローン」<http://r-research.co.jp/pdf/nl10.pdf>を取り上げましたが、この時使ったCDOの仕組みの図は、番組を参考にさせていただきました。2007年でもサブプライムローンを二回取り上げ、**非常に分かりにくいこの問題を「出来るだけわかりやすく」と**言う配慮が働いていることがわかりました。私もこのNewsLetterで取り上げ、文章にまとめたのですが、独学では非常に手間がかかりました。**恐るべき取材力と編集力、スピード、恐れ入りました！**

NHKも特別の体制をとってこの番組を支えているようです。普通はありえないらしいのですが「報道局」と「制作局」が「共管」（？NHK用語らしい）しており、**全国各地の放送局や全世界の局がテーマを提案して参加が出来る仕組みを作っている**、とのこと。民間企業出身者には普通のことのように思えますが、**NHKとしては特例なのでしょう^^**。多分地方局なんかにとっては全国放送されるような番組の

ガス抜いたパン生地(イメージ) (笑) →



制作なんていう機会はずっとなく、「クローズアップ現代」が一つのガス抜き穴の穴になっていく可能性もあります(これは筆者の主観ですよ) (笑)。

唯一見つけたインタビュー記事は英語でした(T\_T) →



この番組を語る上で絶対に避けて通れないのはご存知、**アンカーウーマン「国谷裕子」**さんです。**かつぜつの良い語り、巧みなインタビューを駆使し、番組をコントロール**します。私は国谷さんがかつて**「セリフ(ではないのですが)を噛んだ」**ことを見たことがない様に思います(言いすぎかな)。また、時間管理も完璧です。これはこの番組を見たことのある方であれば一様に納得していただけるのではないかと思います。

そうそう大切なことをお伝えすることを忘れていました。この番組、原則「**生放送**」！です。私が驚異的と申し上げた一因はここにあります。国谷さんのアンカーウーマンとしての能力がいかに



高いかを思い知ったのはこの「生放送」と言う情報に接したときでした。

国谷さんのプロフィールはなかなか明らかになりませんでした。たった一つ記事を見つけたのですが、なんと**英語のインタビュー記事でした(T\_T)**(上記写真)。頑張っ読みました。1957年2月大阪生まれ(ごめんなさい、年齢をばらしてしまいました)m(\_ \_)m。幼少の頃からアメリカや香港などを転々と引っ越した後に、1981年に**ブラウン大学**(ロードアイランドの名門校です)の「国際関係・経済」を優秀な(多分)成績で終了後、NHKの英語ニュースの翻訳者兼ライターとして働いていたようです。どうも正式な社員ではなく嘱託のような感じでしょうか。その辺の細かい事情はよく分かりませんでした。国谷さんはインタビューの中で何度も「**キャスターとして専門的な教育を受けていないこと**」！を強調しています。そしてキャスターとしての心得をとにかく納得するまで(分かるまで)何度でも勉強を繰り返すと言っています。また、「**生放送と言うものの恐ろしさ**」にも言及しています。



インタビューに関しては、「**インタビューは真剣勝負**」。その人を知るための準備がないと引け目を感じ、対話ができない。**だが、シミュレーション通りにやろうとすると、相手の話が耳に入ってこなくなるため、その場になったら自分の考えを捨てる必要もある**」「**その人しかもっていない言葉を視聴者に届けられる**ことが、仕事をする中で一番幸せ」(慶応大学での講演録より)と、語っています。

**毎週木曜日の放送が終わると、翌週の(月~木)の予定が渡されます**。そこから彼女の猛勉強が始まります。おそらく週末はないのではないのでしょうか(推測) ^^;。時には本番ぎりぎりまでゲストコメンテーターと議論をすることも。**とにかく徹底して勉強をしまくる**、と言うのが彼女のアンカーウーマンスタイルのようです。頭が下がります。知らないことの方が圧倒的に多いはず。それを翌週の生放送の番組までに自分が納得するまでに高めるパワーは尋常なものではないはず。



←私も知っているのは名前だけでした

アメリカには**ウォルター・クロンカイト**という名アンカーマンがいました。1963年~1981年までCBSの「Evening News」を担当しました。足掛け18年間！この間、非常に大きな影響力を誇り、**ベトナム空爆を非難した発言はときの「ジョンソン大統領」の再選出馬を断念させた**エピソードで有名な方です。もちろんアンカースタイルは全く異なりますが、国谷さんも15年目。是非アンカーマンの神様の記録を破って欲しいものです。

ここまでほぼ絶賛して来ましたが、多少不満はあります。それは**ゲスト出演者の偏り**。職業的に**大学教授**が多くなるのは仕方ないのかもしれませんが、多すぎます(50%)。もっと現場に近い人を**ゲストに呼んでほしい**と感じます(そう言う人は慣れていないので生放送では危険だという判断かもしれませんが)。特定の評論家の出演回数が突出しているのも気になります。テーマではやはり「**国内政治**」の**取り上げ回数が少ない**のが気になりますね、何か暗黙の了解があるのでしょうか。2007年は5回しか取り上げられていません。

この番組を語る客観的なデータがあります。視聴率です。

**平成 17 年度 10.4% →平成 18 年度 10.8% →平成 19 年度 11.1%**

この手の地味な番組でこの数字は驚異的だと思います。もちろん 19:00 のNHKニュースの直後で数字が出やすい環境にはあるのですが、それにしても長年続けている報道番組ではやはり驚きの数字と言

今年の巨人どうですかねえ、また大型補強(笑) →

わなければなりません。**あの巨人戦よりも遥かに高い(笑)**。



2007年の放送での最高視聴率上位三位は、

- 1位 「安部首相"退陣"の衝撃」9月13日放送 17.9%
- 2位 「宙に浮いた年金記録”どうする5000万件”」6月7日放送 15.2%
- 3位 「”世界金融不安”の悪夢～サブプライムショック」9月20日放送 14.5%

身近な「年金」から、「政局」、そしてとてもわかりにくい「サブプライム」まで、しかもタイムリーに、分かりやすく、番組の面目躍如とするところでしょう。

「**随分NHKの肩を持つなあ**」とお感じになられた方もいるかもしれません。しかし、民放の「一



←最近は人の「アホさ」を笑う番組が流行です(T\_T)

億総白痴化(古い)そのものの番組... を見ているとこの国の未来が心配です。でも私がNHKの番組で好きなのはほぼ報道・ドキュメントものに限られます。バラエティとか歌番組はちょっと(笑)。NHKにはこの国の将来のためにも頑張ってもらいたい。国谷さんも。←お気づきでしょうかが大ファンです(笑)。



今日はちょっとしたお知らせがあります。しつこいんですが(笑)、ホームページを作りました。

**<http://www.r-research.co.jp>** です。

特に面白いページはありませんが、このNewsLetterのバックナンバーがいつでもダウンロード出来るようにしました。**ブログも毎日更新しています！(週休二日で)(笑)**。お暇な時は是非！

株式会社アール・リサーチ Tel : 047-342-3181

mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

ブックマークもお願いしますm(\_ \_)m → <http://www.r-research.co.jp>